

# 図画工作科学学習指導案

指導者 塚越 美希

1. 日時・場所 令和4年6月3日（金）第3校時 場所 森の広場
2. 学年・組 第3学年1組 30名
3. 「学習の方向性」から題材へ

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」  
生活を楽しくしたり伝え合ったりするものの用途を考えながら思いのままに表す。  
【A表現（1）イ（2）イ】【B鑑賞（1）ア】〔共通事項〕

題材名  
**「風ので命を吹き込もう」**

題材目標  
○自分の感覚や行為を通して形や色、組み合わせによる感じが分かり、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して表すようにする。  
○材料が浮いたり、動いたりする様子から感じたこと、想像したことから、材料などを生かしながらどのように表したいか考えるとともに、自分たちの作品の造形的なよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。  
○進んで吹き上がる風ので、浮かんだり動いたりするものをつくる学習活動に取り組み、作り出す喜びを味わうとともに、形や色などに関り楽しく豊かな生活を想像しようとする。

## 4. テーマに迫るために

研究主題  
**感性豊かに生きる力をはぐくむ図画工作科学学習の創造**  
～感じる つくる 考える 子どもの姿を求めて～

部会テーマ  
工夫してつくることを楽しむ子どもの姿を目指して

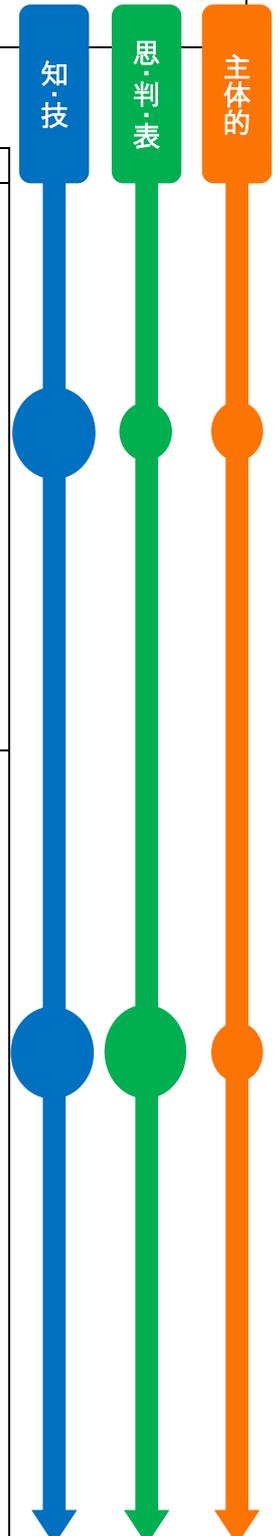
- 出あいの工夫  
材料に対する知識を得られる素材体験をする時間を確保する。  
授業後→それぞれの材料の特徴やよさ、改善したい点が共有でき、自分で試す際にイメージをもって取り組むことができた。
- 場の設定の工夫  
自然に相互鑑賞が生まれる、場づくりを行う。つくる場所と、試す場所を近くにすることで、つくりながら試すことができるようにする。  
授業後→紐をつける、折り曲げるなどのアイデアが広がっていった。
- 共感的支援の工夫  
素材体験で共有した材料や用具のよさを表す言葉を使い、子どもに声掛けを行うようにした。  
授業後→材料のよさを活かした活動が広がった。

5. 題材の評価規準

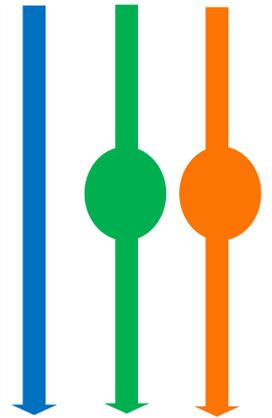
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○吹き上がる風の方で、浮かんだり動いたりするものをつくる時の感覚や行為を通して形や色、それらの組み合わせによる感じが分かっている。</p> <p>○ポリ袋やスズランテープなどを適切に扱うとともに、はさみやテープなどについての経験を活かし、手や体全体を十分に働かせて表し方などを工夫して表している。</p>	<p>○材料が浮いたり、動いたりする様子から感じたこと、想像したことを基に表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表したいか考えている。</p> <p>○自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、色々な表し方について感じ取ったり考えたりして自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>○進んで吹き上がる風の方で、浮かんだり動いたりするものをつくる学習活動に取り組み、作り出す喜びを味わうとともに、形や色などに関り楽しく豊かな生活を想像しようとしている。</p>

6. 指導と評価の計画

子どもの学習活動	評価規準【評価方法】	教師の指導
<p>提案1 体験してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師の演示から送風機の風にポリ袋を乗せて浮かべる方法を知る。</li> <li>送風機の風でポリ袋を浮かせる素材体験からどんな動きやどんな様子になるかを体験し、どんなことができそうか、どんなものにできそうかを考える。</li> </ul>	<p><b>知・技</b> 吹き上がる風の方で、浮かんだり動いたりするものをつくる時の感覚や行為を通して形や色、それらの組み合わせによる感じが分かっている【発言・観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送風機の風でポリ袋が浮かぶ様子を示し、活動への意欲を喚起する。</li> <li>袋の浮かせ方や口の止め方を確認する。</li> <li>送風機が風をつくる仕組みを説明し、下から材料が吸い込まれないように注意喚起をする。</li> </ul>
<p>提案2 動きを試しながら、ふくろを変身させよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>素材体験から考えたことを基に、材料をつけたり、試したりをくり返し、試行錯誤しながら表す。</li> <li>友達の作品鑑賞や試行錯誤する活動から、袋の組み合わせ方やスズランテープの付け方を工夫しながら表す。</li> </ul>	<p><b>知・技</b> ポリ袋やスズランテープなどを適切に扱うとともに、はさみやテープなどについての経験を活かし、手や体全体を十分に働かせて表し方などを工夫して表している。【活動の様子・作品】</p> <p><b>思・判・表</b> 材料が浮いたり、動いたりする様子から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表したいか考えている。自分や友達作品のよさを感じ取ったり考えたりして自分の見方や感じ方を広げている。【対話・作品】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>袋の動きや思いついた材料の使い方を試す時間を十分に設け、試行錯誤をできるようにする。</li> <li>材料を取りに行くときや送風機を共有する際に自然発生する鑑賞に加え、お味見ショーを行うことで工夫や思いを共有し、自分の作品に生かせるようにする。</li> </ul>



提案3 変身ショーを見せ合おう。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や友達がつくったものの動きや面白さなどを感じ合い、よさや工夫などを伝え合う。</li> <li>後片づけをする。</li> </ul>	<p><b>主体的</b>          試行錯誤を繰り返し替えしながら、思いの実現に向けて、進んで活動に取り組んでいる。          【活動の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いの動きを見合っ、よさや工夫を伝え合う場をつくる。</li> <li>見るときの視点（材料の工夫・動きの面白さなど）を伝える。</li> </ul>

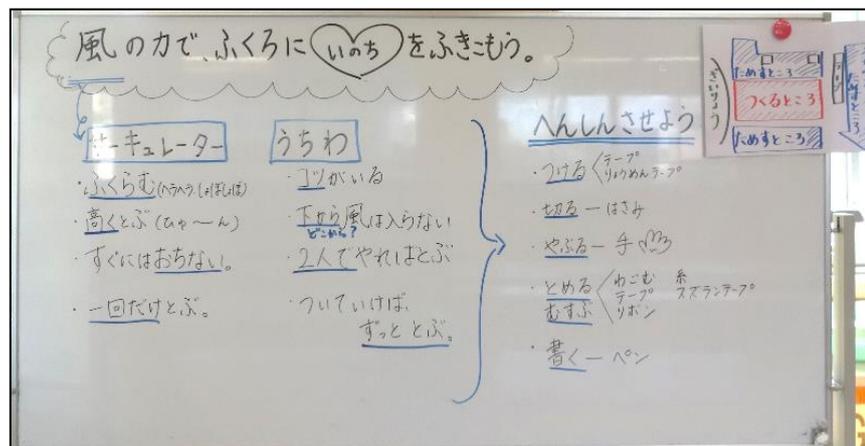


## 7. 研究内容についてのふりかえり

### 【よかった点】

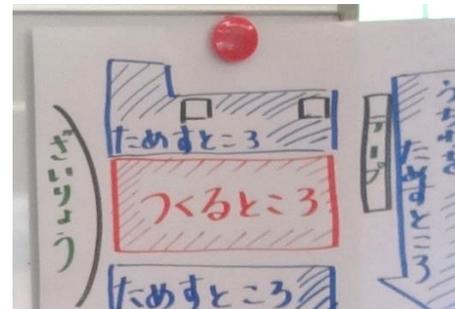
#### ①材料に対する知識を得られる、素材体験。

- それぞれの特徴やよさ、改善したい点が共有でき、自分で試す際にイメージをもって取り組めていたこと。



#### ②試しながらつくれる、場づくり。

- すぐに手直しや試しができ、思いに合わせた工夫ができていたこと。



#### ③自然に相互鑑賞が生まれる、場づくり。

- 紐をつける、折り曲げるなどのアイデアが広がっていったこと。

### 【改善したい点】

- うちわに挑戦する児童が全体的に見て少なかった。うちわはずっと追いかけて浮かせられる反面、なかなか上には上がりづらかったようだ。うちわの活動をより広げていくにはどのようにしたらよかったのか。